

# 診療情報管理士



## 働きながら学べるe-ラーニング

授業も練習問題もすべてe-ラーニングです。自分のペースで繰り返し学習でき、仕事や家庭との両立も可能です。

## 病院事務職員に必要な基礎知識を学べます

診療情報管理士の知識は、診療録管理業務に限らず院内のさまざまな部門で活かすことができます。また、基礎医学の知識をもちカルテが読める事務職員として活躍の場も広がります。

この先のキャリアを考えるヒントがここにあります！

## 通信教育 受講生募集

2023年1月開講 第102期生

**開講日** 2023年1月1日  
**申込期間** 2022年10月1日～11月15日  
**修業期間** 2年間（基礎課程、専門課程各1年）  
**受講料** 各年 110,000円（税込）  
※基礎課程、専門課程それぞれ納入。

**編入制度** 次の有資格者は基礎課程を免除  
医師、歯科医師、看護師（保健師、助産師）、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、視能訓練士、言語聴覚士、歯科衛生士、歯科技工士、臨床工学技士、義肢装具士、救急救命士、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師、柔道整復師のいずれかの日本国の免許を有する者。 ※准看護師を除く。

**資格認定機関** 日本病院会、全日本病院協会、日本医療法人協会、日本精神科病院協会、医療研修推進財団

診療情報管理士（Health Information Manager）は診療情報を中心に、健康に関する情報を国際統計分類に基づいて収集・管理し、データベースを抽出・加工・分析する専門職種です。そのデータは、病院経営、医療の質の評価、適切な医療政策の構築のために必須となっています。また診療報酬支払制度、がん登録推進法、医療事故調査制度など、診療情報管理士が関係する重要な制度も多く、その役割は医療機関においてますます重要となってきました。

本会の通信教育は、診療録管理士の養成課程として1972年に開講、診療情報管理士の認定者総数は2022年5月現在で43,000名を超え全国各地の医療機関で活躍しています。基礎医学をはじめ、診療情報管理業務や国際疾病分類等の専門分野を2年間で学ぶ、実務的なカリキュラムで、明日の医療を支える専門家を育てます。  
なお、本通信教育を修了することで、医師事務作業補助体制加算の施設基準のうち、基礎知識研修の習得も証明されます。（発行には別途手数料が必要です）



一般社団法人日本病院会 教育部教育課  
〒102-8414 東京都千代田区三番町9-15  
TEL:03-5215-6647（平日10～17時）  
e-mail:shinryo@hospital.or.jp

**申し込み先** <https://jha-e.jp/>  
※お申し込みの前に、Webサイトの「募集要項」を必ずお読みください。



## 診療情報管理士になるには

基礎課程、専門課程それぞれのテキストと、繰り返し学習可能なe-ラーニングの「Web授業（講義）」「練習問題」で自己学習を行い、科目試験を受験します。

通信教育の全課程を修了すると、診療情報管理士認定試験の受験資格を得ることができます。

認定試験に合格し認定登録手続きを行うことで、「診療情報管理士」として認定されます。

## 学習スケジュール（e-ラーニング）

2023年1月



開講

2023年12月



基礎課程  
・Web授業  
・練習問題

2024年1月



進級

2024年12月



専門課程  
・Web授業  
・練習問題

2024年12月



科目試験

2025年2月



診療情報管理士  
認定試験

## 通信教育受講資格

原則として2年制以上の短期大学または専門学校以上を卒業している方。ただし、現在病院に勤務している方は、最終学歴が高校卒業でも可。

該当する医療系国家資格をお持ちの方は基礎課程を免除、専門課程へ編入できます。（表面参照）

## カリキュラム

日本病院会診療情報管理士教育委員会が、よりふさわしい教育をめざして改訂、改善を重ねたカリキュラムと教材で学びます。課程は基礎課程12科目各2単位、専門課程12科目各2単位、合計24科目48単位によって構成され、授業科目ごとに学習内容が細かく決まっています。

### 基礎課程 12科目

- ① 医療概論
- ② 人体構造・機能論
- ③ 臨床医学総論（外傷学、先天異常等含む）
- ④ 臨床医学各論Ⅰ（感染症および寄生虫症）
- ⑤ 臨床医学各論Ⅱ（新生物）
- ⑥ 臨床医学各論Ⅲ（血液・代謝・内分泌等）
- ⑦ 臨床医学各論Ⅳ（精神・脳神経・感覚器系等）
- ⑧ 臨床医学各論Ⅴ（循環器・呼吸器系）
- ⑨ 臨床医学各論Ⅵ（消化器・泌尿器系）
- ⑩ 臨床医学各論Ⅶ（周産期系）
- ⑪ 臨床医学各論Ⅷ（皮膚・筋骨格系等）
- ⑫ 医学・医療用語

### 専門課程 12科目

- ① 医療管理総論
- ② 医療管理各論Ⅰ（病院管理）
- ③ 医療管理各論Ⅱ（医療保険・介護保険制度）
- ④ 医療管理各論Ⅲ（医療安全・医療の質管理）
- ⑤ 保健医療情報学
- ⑥ 医療統計Ⅰ（統計理論）
- ⑦ 医療統計Ⅱ（病院統計・疾病統計）
- ⑧ 診療情報管理Ⅰ（法令・諸規則）
- ⑨ 診療情報管理Ⅱ（診療情報管理士の実務）
- ⑩ 診療情報管理Ⅲ（DPC・医師事務作業補助者・がん登録の実務）
- ⑪ 国際統計分類Ⅰ
- ⑫ 国際統計分類Ⅱ

## 申し込みの流れ

1. 次のリンク先の案内にしたがって手続きを行ってください。（締切11月15日）  
診療情報管理士通信教育Webサイト <https://jha-e.jp/>  
（申し込みは学研メディカルポートのページへ移動します）
2. 申込内容の審査後、受理通知（受講料納入案内）がメールで届きます。  
※10月下旬以降、順次通知予定。
3. クレジット決済またはコンビニ決済を選び、受講料納入の手続きを行ってください。  
（納入期限はメール到着後約2週間、1年分一括支払い）
4. 受講料納入確認のメールが届きます。メールの中で、受講生・修了生サイトのログインIDとパスワードをお知らせします。
5. 12月中旬以降に、宅配便でテキストをお届けします。
6. 2023年1月1日 開講  
e-ラーニングの受講がスタートします！



- ・受講には、PCまたはタブレット端末等をご用意ください。スマートフォンはPC等の補助としての利用をおすすめします。
- ・受講に際し、基本的なPC操作ができることを前提としています。PC操作・通信接続等のサポートは含まれません。

※本チラシの内容は募集時のものであり、今後変更になる可能性があります。

※日本病院会では、診療情報管理士育成において、大学、専門学校（3年制以上）を認定しており、該当する単位取得者は診療情報管理士認定試験を受験することができます。2022年4月現在、指定大学20大学、指定専門学校47校。

※コンテンツ等の権利について

診療情報管理士教育委員会が、提供するコンテンツ（テキスト、e-ラーニングのWeb授業・練習問題等）、月報、試験問題、印刷物、配布物、配付データ等、本教育に関する一切の著作権、商標権、肖像権、その他権利は、診療情報管理士教育委員会または当該権利者に帰属します。許可のないこれらのコンテンツ等の利用（複製、転載、転用、インターネットへのアップロード、配信、販売、頒布、譲渡、貸与、掲示、録音、録画、放送、上映等）はできません。各権利を侵害する行為が認められた場合は、法的措置を取ることがあります。各コンテンツ等については、受講生の自己学習の範囲内でご利用ください。